

ごんた坂

同窓会報

第2号
光陵会同窓会報

発行所
神奈川県立光陵高等学校
光陵会
印刷所
中央出版印刷所

第二十八回(一九九七年度)

総会の御案内

年に一度の光陵会全会員の交流の場となる集いを左記の要領で開催する予定です。ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、お出かけ下さいますようお願い致します。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成9年11月8日(土) 午後2時～5時

場所 老松会館 (京浜急行線 日の出町駅下車)

会費 未定 (学生の方は学生証を御持参下さい)

議題 1、新年度役員承認

2、会計承認

3、その他

お手数ですが、御出欠を9月末日までに同封の葉書でお知らせ下さい。欠席される場合は必ず委任状に記名・押印をお願い申し上げます。

校歌を口ずさむ街のソリスト

校長 田村 應和

街を歩きながら、ふと歌を口ずさみたくなることがあります。

周りの景色がそうさせるのか、はたまた心の状態が唇に詞とメロディーを重ね合わせようとするのか、とにかくその歌のジャンルも様々なのです。ポピュラーソングあり、ド演歌あり、謡曲の小話ありでヴァリエティに富んでいます。そんなとき、「光陵高校校歌」がしばしば、登場します。「光は希望 その光あふれる陵に……」と、ある種の思い入れをまじえ、繰り返す音程のずれも、二番と三番の歌詞の混同もほとんど気にせず、歌い続けます。このひととき、光陵高校の校長であることの満たされた気持ちが自然と曲全体を包み、中世フランスの吟遊詩人ならぬ辻音楽家気取りの詩らしげなソリストに変わります。

個性的でいろいろなことに真剣に取り組む在校生や、様々な分野でエネルギーな活躍をしている卒業生たちの姿を見聞きするにつけ、光陵高校に籍を置く身の幸せを精一杯、感じ取っています。

校長仲間から「ニューミュージックに強い田村」との評価を受けている私ではありませんが、野毛の大道芸でデビューするほどの力量と厚かましさは持ち合わせていないので、精々、街を歩きながらの鼻歌程度の歌唱力の發揮であったり、カラオケでの自己陶醉にとどめておこうと考えています。世はアムラー、ナオラー、マツラーと新しい街の文化が台頭してきています。私の描く「タムラー」のモチーフを、光陵会からどこまで吸収できるのか、その文化の拡大と融合をめざしていきたいと思えます。



新会員名簿の発行のお知らせ

一九九八年に新しい光陵会会員名簿の発行を計画しております。つきましては、進学・就職・結婚等で住所・氏名、その他に変更のあった会員の方は光陵会まで御連絡下さい。また光陵会の旧職員・先輩・後輩を問わず消息不明の方の消息や住所等を御存知でしたらぜひお知らせ下さい。

尚、前回名簿(一九九五年発行)作成を依頼しました中央出版印刷所より、会員各位に名簿のご案内を年内中にお送りする予定です。その際はご協力の程よろしくお願い申し上げます。

平成9年度光陵行事予定

4月5日	始業式	22日	後片付け
7日	入学式	23日	秋分の日
20日	開校記念日	24日	代休
30日	遠足	10月20～24日	2年修学旅行
5月8日	スポーツテスト	11月7日	防災訓練
30日	体育祭	12月15日	1年スケート教室
6月6～13日	教育実習	24日	終業式
7月10・11日	球技大会	1月8日	始業式
19日	終業式	2月3日	マラソン大会
20日	海の日	3月13日	卒業式
21日	夏季休業	18・19日	球技大会
9月1日	始業式	25日	終業式
20・21日	光陵祭		

～ 同窓だより ～



私は三期生です。ワインにたずさわっていますので、九月に南仏・イタリアのワインの産地を研修視察旅行して参りました時のこと。ミラノからピエモンテ(北イタリア)のワイン産地に同行して下さった現地通訳の池田みゆきさんとおわかれする目にもわかったこと。横浜出身というので「私は榎太坂の高校を出しましたがオギノさんは？」とさかされてびっくり。そう、同窓生なんです。日本人観光客も普通はやってこないイタリア白トリュフの産地、パローロワインやバルバレスコワインの産地のできごと。同じグループの主催者がたまたまお願いした通訳だったんですが、大変お世話になって帰って参りました。彼女、椎谷先生のクラスです。おおい

職業肩書

多目的音楽スタジオ「エルヴール」主宰
コンビニエンスストア経営
(社)日本ソムリエ協会会員
ワインアドバイザー
ワイン等輸入販売

荻野悦子

に盛り上がりました。
世界で活躍する同窓生が沢山居ます。光陵で、成績はともかく楽しい思い出が一杯だったことを思い出します。



～進路状況…平成8年大学合格者数～

学校名	総数		現役		平成8年	学校名	総数		現役		平成8年	学校名	総数		現役		平成8年
	合格	進学	合格	進学			合格	進学	合格	進学			合格	進学			
国立大学						私立大学						私立大学					
千葉	6	4	3	3	5	青山学院	34	8	16	5	28	フェリス女学院	10	3	9	3	6
筑波	4	3	3	2	2	学習院	21	9	5	3	21	法政	25	5	10	1	35
電気通信	3	3	1	1	1	神奈川	20	4	3		43	武蔵工業	12	1	4	1	10
東京	6	6	4	4	8	慶應義塾	36	21	15	11	44	明治	50	16	19	9	46
東京工業	8	8	3	3	13	芝浦工業	11	1	1		8	明治学院	25	2	8	2	42
東京農工	4	3			1	上智	13	4	4	1	13	立教	27	5	7	1	29
東北	7	7	3	3	4	専修	12	2	3	1	9	早稲田	52	22	15	8	70
新潟	3	2				中央	48	18	22	9	57	短期大学					
横浜国立	9	8	3	2	21	東海	14	3	4	1	15	明治大学	3	1	2	1	
公立大学						東京理科	37	9	15	6	49						
東京都立	10	6	7	4	9	日本	26	9	5	2	25						
横浜市立	11	10	8	8	9	日本女子	15	7	7	4	15						

(紙面の都合上、国公立は合格者3名以上、私立は合格者10名以上の大学を掲載しました)

光陵会会計報告

～1995年度決算～

収入の部		備考
入会金	1,336,000	@4,000×334
会費	1,336,000	@4,000×334
總會会費	308,000	
雑収入	49,189	利子・名簿代等
前年度繰越金	2,183,873	
	5,213,062	
支出の部		備考
通信費	972,590	
印刷費	208,552	
事務費	53,054	
運営費	350,971	
交通費	64,600	
總會会費	560,000	
	2,210,367	
収支差引金額	3,002,695円	

～1996年度予算～

収入の部		備考
入会金	1,485,000	@4,500×330
会費	1,485,000	@4,500×330
同窓会会費	300,000	
雑収入	50,000	
前年度繰越金	3,002,695	
	6,322,695	
支出の部		備考
通信費	1,000,000	
印刷費	250,000	
事務費	55,000	
運営費	450,000	
交通費	100,000	
同窓会会費	400,000	
	2,255,000	
収支差引金額	4,067,695円	

主な部活動の成績

体操部	県新人大会出場(堀見)	
サッカー部	新人大会県大会	} ベスト32
	関東大会県予選	
	全国選手権県予選	
水泳部	横浜市民大会 男子総合4位	
野球部	春季県大会 ベスト16	
ハンドボール部	新人戦県大会 ベスト32	
	県選手権大会 ベスト24	
	関東大会予選 ベスト32	
男子テニス部	インターハイ予選県大会 ベスト16	
女子テニス部	県大会団体戦 ベスト32	
陸上部	県大会出場	
将棋部	選手権大会県予選 団体戦 4位	
	個人戦 2位(鈴木)	
		ベスト16(柳木)
吹奏楽部	県コンクール 金賞	
	東関東コンクール 銅賞	

光陵高等学校御中(匿名)

「先日、産報通信社なる新聞社より貴校の紹介記事が載せられるということで広告料負担の依頼がありました。仕事上の電話勧誘ということで当方では大変迷惑しております。あなたがたには解らないでしょうが一般社では、現在景気が思わしくなく競争も激しくなっています。このような時に仕事場に意味のない私用電話をかけられる事は当人及び回りの人間に多大な迷惑をおよぼします。そちらが何をやらせようが勝手ですが他人に迷惑をかけるという事は人間として最低限守るべきマナーと考えますのでよろしく願います。」

先日、光陵会あてに、上記のような葉書が届きました。産報通信社と光陵会とは何の関係もありませんし、光陵会では人間として最低限守るべきマナーに反した事をした覚えはありません。また、このような事がありますので、会員の皆様には、名簿の取り扱いをより慎重にして頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。

光陵高校一九九七年度異動

*転出		*転入	
国語	藤崎隆雄 (新羽高校へ)	国語	田中心美 (寛政高校より)
地歴	河田美智子 (大岡高校へ)	地歴	高橋富雄 (大岡高校より)
英語	斎藤実 (浪沢高校へ)	音楽	吉田恵子 (湘谷西高校より)
事務	服部重隆	英語	濱砂伝市 (磯子高校より)
		事務	盛岡茂美 (相武台高校より)
			徳田秀一

(敬称略)



あとがき

年一回の「こんた坂」発行にも意外な苦労が潜んでいました。しかしそれにもめげずに今後も頑張っていきたいと思いますのでよろしく愛読の程お願いいたします。

この会報の発行にあたり多くの方々のご協力を頂きました。心より感謝申し上げます。会員皆様の御多幸をお祈りしつつあとがきに代えさせていただきます。



編集スタッフ

26期	横田秀明・小林久美子 植木里佳・佐伯辰彦 山口貴子
27期	杉崎麻里・福岡督泰 福田典子・池庄可雅臣
28期	森重良子・武藤壮輝 鳥越麻里
29期	米原圭祐・神谷和磨 松浦圭介